

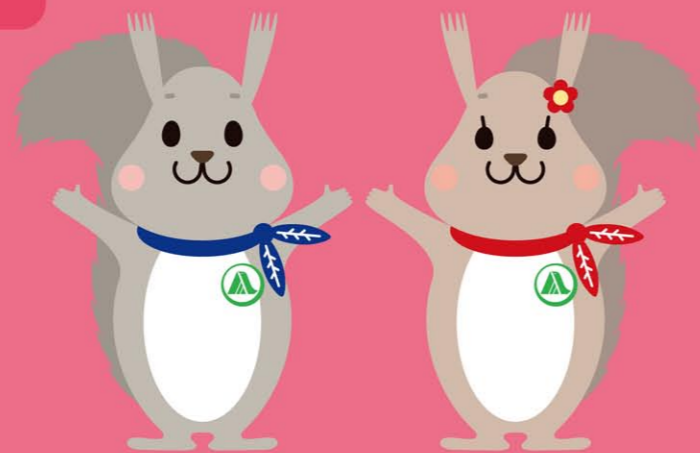
第2章

農村地から住宅地へ

じゅう たく ち

白石村と札幌市との合併などで、厚別のまちの姿は急激に大きく変わっていくよ！

おーい 出発するぞ〜！



農村地あつべつ

昭和のはじめの厚別じゃ。

畑 水田

1 山本
山本川の近くは、水田が広がっていました。

2 停車場通
厚別の中心街として人が行きかい、にぎわいました。

3 大谷地
大谷地は豊かな水田地帯として栄えました。

4 瑞穂池
水田に使う「ため池」として瑞穂池は、1928年(昭和3年)に作られました。

5 下野津幌
昭和のはじめころ、防虫菊(蚊取り線香の原料)が下野津幌の特産品でした。

6 上野幌
上野幌は宇都宮牧場、出納牧場など、牧場が多く、一大酪農地帯でした。

北

HISTORY

GO ショウワシヨキ FOR アツツク



明治から昭和にかけて、道路や鉄道、学校や郵便局が造られ、まちとしての機能が整い、住む人も増えました。当時はほとんどの人が農業を営んでいて、水田や畑、牧場が広がる農村地でした。

厚別マメ知識〜熊がいた！

昔から北海道の森には、熊がたくさん住んでいました。厚別でも熊に襲われたり畑を荒らされたようです。木を切り、森がなくなると、次第に熊も減っていきました。1944年(昭和19年)ころ、小野幌のあたりで熊を討ち取ったという記録があります。それは厚別にいた最後の熊だったのかもしれませんが。



げき どう 激動の時代、昭和!

のどかな農村地だった厚別が劇的に変わっていく時代じゃ。

戦争と食糧不足



ヤミ市(1945年ころ)

HISTORY

1945年(昭和20年)ころ、食糧不足が起こりました。厚別の人たちは若者が兵隊に行き、働き手が少ない中でも一生懸命に食糧を作りました。

ヤミ市で食べ物などを自由に取引していたんだね。



札幌市と合併



HISTORY

戦争が終わり産業が回復しつつある1950年(昭和25年)。白石村と札幌市が合併(ひとつになること)して、厚別は札幌市の一部となり、道路や橋が整備され、まちが発展しました。

厚別マメ知識～ 水害で大ピンチ!

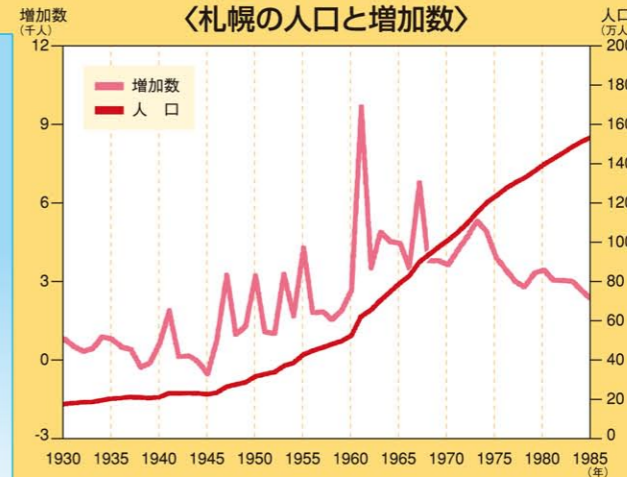


札幌市と合併した1カ月後の1950年(昭和25年)7月31日から8月1日にかけて、すさまじい豪雨が札幌を襲いました。この災害で下野津幌や小野幌が特に大きな被害を受けましたが、財政力が豊かな札幌市の一部となっていたために、被害の復旧がすばやく行われました。

札幌市の人口増加

HISTORY

戦後30万人ほどだった札幌の人口は、1955年(昭和30年)ころから産業の回復やベビーブーム(出生率が急に高まった時期)などで、急増しました。そこで札幌市は、人口増加による住宅不足の解決策として、たくさんの方が住める団地を厚別に造ることを決めました。



たくさん人が増えたんだね!



←ここはどこかな?

こうして厚別に団地が造られることになったのじゃ。

ひばりが丘団地

HISTORY

団地の候補地となったのが、現在の『ひばりが丘』。そこにはかつて、工場や農場などがありました。1966年(昭和41年)、その広い場所におよそ5,000人が住めるようにと、ひばりが丘団地が完成しました。



▲造成中のひばりが丘団地(1959年ころ)



▲1920年ころのひばりが丘団地付近には、厚別製線工場という糸を作る工場がありました。

農村地から住宅地へ



HISTORY

1962年(昭和37年)の原油の輸入自由化をきっかけに、石炭よりも石油が多く使われるようになったこともあり、道内の農村や産炭地から、札幌に集まってくる人たちが増えました。そこで、1968年(昭和43年)に青葉団地、1980年(昭和55年)にもみじ台団地を造りました。

1968



Before

1968年の
もみじ台付近の様子▶

1979



お家が
いっぱい増えた!

After

◀1979年の
もみじ台団地の様子

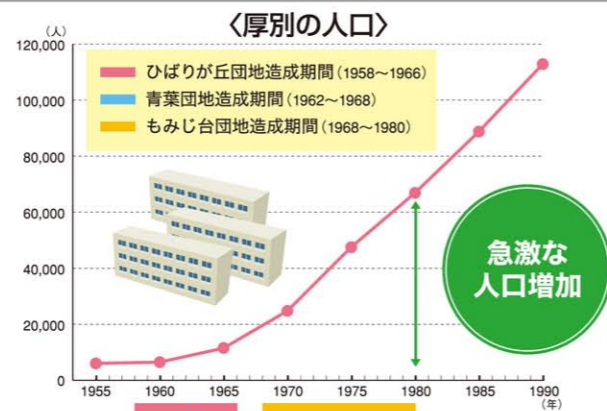


じゅうたくち

団地ができたら、人が増えた!

HISTORY

戦後5千人ほどだった厚別の人口は、ひばりが丘団地ができただけにより、1965年(昭和40年)に1万人を超え、青葉団地ができあとの1970年(昭和45年)には約2万5千人になりました。さらに、もみじ台団地ができあとの1980年(昭和55年)には6万5千人以上にもなり、団地ができるたびに人口が増えたのがわかります。



Change!

1973



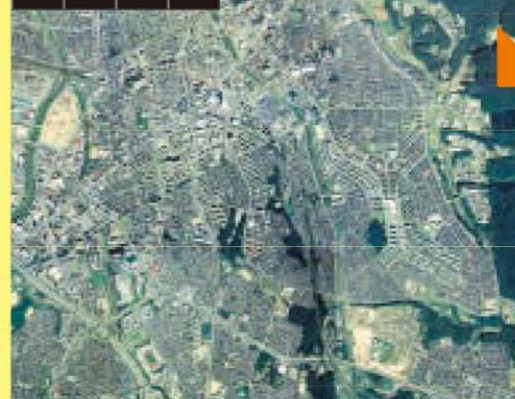
▲1973年の厚別。団地がたくさんできました。

1947



▲1947年の厚別。まだ団地がなく、田畑が広がっている。

1998



▲1998年の厚別。

厚別のまちが
大きく変わったのが
わかるじゃろ!

人が増えたら、
大変なことも
増えそうだなあ...

HISTORY

このように、厚別はのどかな農村地帯から、ひばりが丘団地の造成をきっかけに、大規模な住宅地帯に変わっていきました。このように短期間にまちづくりが進んだのは、厚別を築いてきた人たちの積極的な協力があったおかげです。



二つの問題を解決!そして便利なまちへ

だんやくこ
弾薬庫には火薬が
たくさんあるから
家の近くにあると
危ないなあ...



問題① 弾薬庫移転問題

Before



1969年

ひばりが丘団地の近く(現在の
新札幌駅の周辺)には、戦
争の時につくられた弾薬庫
がありました。

解決

人が多く住むよう
になったため、別の場
所に移転しました。

After



1974年 広い空き地が
できた!

土地を
有効利用
できるね!



問題② 千歳線短絡問題

Before



千歳に向かう鉄道(千歳線)の急
カーブをなくそうと、途中まで
函館線に沿わせて、団地を通り
上野幌駅につなげるルートが考
えられました。しかし、騒音など
の問題でできませんでした。

解決

住宅地をまわりこむ
ように、路線を変更
しました。

After



1973年 新札幌駅
ができた!

駅を
中心に
発展!



急カーブのある
鉄道の路線を変え
たいけど、団地の
近くは通れないし...

なくなった線路の跡がこのあと大変身するよ! (35) ページへ

1972年

ちょうどそのころ、札幌市は
人口が100万人を超え
「政令指定都市」に
なりました。

白石区誕生!

政令指定都市になった札幌には、中央区、北区、東区、
白石区、豊平区、南区、西区の7つの区ができました。
こうして厚別は、白石区の一部としてスタートしました。

広報さっぽろ1972年3月号▶



便利な札幌の中心地ばかりに、
人が集まりすぎると、困るなあ...

新たな
問題
中心部への
人口集中



政令指定都市って?

政令で決められているまちのこと。区役
所をつくったり、いろいろなことがで
きるようになって、住みよいまちになります。



札幌の中心地をもうひとつ「副都心構想」

新札幌駅のまわりにある弾薬庫の跡地に、人が集まる便利なまちをつくることにしました。
それは副都心構想といわれ、計画的にいろいろな施設がつけられました。

商業施設



1977年 サンピアザオープン▶

テナパートが
できた!

文化施設



1981年 青少年科学館開館▶

1982年 サンピアザ水族館開館▶

交通



1982年 地下鉄新さっぽろ駅開業

地下鉄が
通った!



そしてついに...



厚別"区"

新札幌駅のまわりが便利になり、各地域の宅地開発などにより住む人も増えたため、1989年(平成元年)11月6日、白石区から分かれて(分区)、厚別区になりました。



▲広報さっぽろ厚別区版 1989年11月号



▲区のシンボルマークを選ぶ様子

厚別マメ知識～ 厚別区になったわけ

『厚別区』という名前は、緑区、ひかり区、新さっぽろ区、川東区などの案がたくさんあったなかで、住んでいる人たちの強い希望で「厚別」という名前が選ばれました。

厚別マメ知識～ 織り姫と彦星

厚別区と白石区の境界となっている厚別川沿いに、分区を記念して造られた親水広場があります。この広場には、厚別川をはさんで、厚別区側に織り姫、白石区側に彦星の像があり、厚別川を天の川に見立てて、白石区と厚別区が離れても通じ合っている様子をあらわしています。

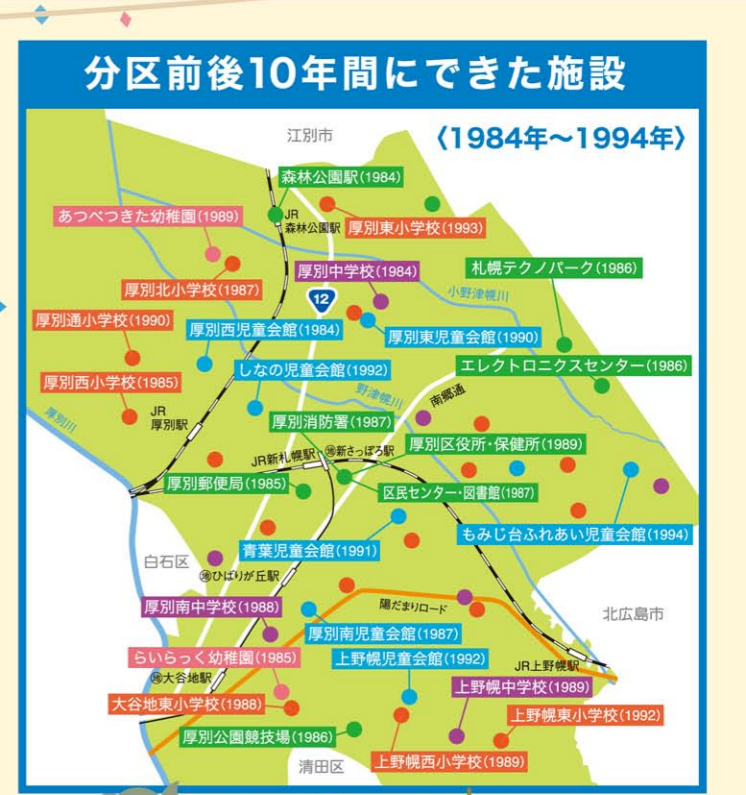


▲おりひめ像 ▲ひこぼし像

誕生!!

もっと便利なまちになるように、厚別区が誕生する前後にいろいろな施設ができました。

以前からある施設



厚別区の 20 年	1990年 第1回 厚別区民まつり	1992年 厚別老人福祉センターオープン	1994年 フリーマーケット「夢市場あつべつ」はじまる	1995年 厚別駅に「飛翔」ができる	2001年 厚別警察署開設	2004年 厚別温水プールリニューアルオープン	2009年 厚別区誕生20周年を記念した催し
---------------------	----------------------	-------------------------	--------------------------------	-----------------------	------------------	----------------------------	---------------------------